

動物実験に関する検証結果報告

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2025年3月

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
機構長 川合眞紀 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 小倉淳郎



対象機関：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

申請年月日：2024年7月23日

訪問調査年月日：2024年12月25・26日

調査員：三浦竜一、大石久史、岡本宗裕、小木曾昇、越本知大

検証の総評

自然科学研究機構（以下「機構」という。）は、国立天文台等の5つの機関と機構直轄の3つの研究施設からなる大学共同利用機関法人である。岡崎地区にある基礎生物学研究所（基生研）、生理学研究所（生理研）及び生命創成探究センターでのみ動物実験が実施されている。「自然科学研究機構動物実験規程（以下「動物実験規程」という。）」「自然科学研究機構動物実験委員会等規程（以下「動物実験委員会等規程」という。）」により、動物実験計画の審査、承認、結果報告、施設等の調査、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等がなされており、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に適合した、適切な動物実験が実施されている。飼養保管施設は環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」を遵守し、管理者、施設使用責任者及び実験動物管理者は職務に従って動物種に応じた適正な飼養保管を行っている。魚類・両生類を使用する実験であっても動物実験計画書の提出や承認を義務づけている点や、サル類を使用する実験に特化した専門部会の設置、「飼養保管マニュアル」に従った運営管理、動物実験実施者に対する教育研修等が行われている点は高く評価できる。全体的に施設や設備の日常的な保守点検や維持管理の状況も良好である。引き続き適切な動物実験の実施と適正な実験動物の飼養保管を維持するとともに、さらに優れた管理体制の構築にも取り組まれない。



検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針及び飼養保管基準に沿った動物実験規程が定められ、その内容は適切である。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
機構独自の取組として「動物実験コーディネータ」を設け、動物実験にかかわる現場に対して、適切な助言や指導、管理や運営を行っている点は高く評価できるが、その役割を内規等で明確に規定したほうがより望ましい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
唯一の動物実験委員会が機構全体の委員会として設置され、3つの研究所等での動物実験にかかわる活動が、動物実験規程のほか動物実験委員会等規程、「自然科学研究機構動物実験委員会申合せ（以下「動物実験委員会申合せ」という。）」に従って行われている。また、機構の特色でもあるサル類の動物実験に特化した「実験用サル専門部会」も設置されている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。

4) 改善に向けた意見

動物実験委員会申合せにおいて、迅速審査での委員会の関与が分かるように工夫されたい。また、動物実験規程と動物実験委員会等規程は同様の規程に見えるので、動物実験委員会等規程は動物実験委員会申合せと統合させ、動物実験規程の下位となる内規等として整合させることを検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験規程、動物実験委員会等規程、動物実験委員会申合せにおいて、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが定められ、必要な項目が揃った各種様式が制定されている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換え動物を用いる実験、放射性物質を用いる動物実験、有害化学物質の投与実験、病原体の感染実験について、それぞれの安全管理を目的とする規則等が定められ、各種委員会の委員との兼任があり情報共有する体制が整えられている。また、麻酔・向精神薬の使用、行政手続きの必要な動物種の使用について適正な手続きが行われている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 前回の外部検証で指摘された病原体の感染実験に対して、必要な規則の制定等の適切な対応を行っている。同様に指摘された、各動物実験施設での災害対策マニュアルの整備にも対応している。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 22か所ある飼養保管施設には、それぞれに管理者、施設使用責任者、実験動物管理者が配置され、飼養保管基準に沿った「実験動物飼養保管マニュアル」「災害対策マニュアル」が定められている。特にサル類の動物実験に対して「霊長類の飼育と使用に関するガイドライン」「サル実験飼育室マニュアル」を定め、適正な飼養保管ができるよう体制を整備している。また、専任の獣医師によるサル類の健康状態の把握、診断及び処置も常時されている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

2010年に動物実験に関する相互検証を受検しており、今回が2回目である。その際に指摘された事項すべてに対して適切に対応している。
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>役職指定 13 名からなる動物実験委員会は 3 要件の委員がそれぞれ複数名含まれ、対面あるいはメールにより動物実験計画や動物実験の実施結果の審査、必要に応じた助言指導を機構長を介して申請者に通知している。また、施設の確認、動物実験実施者や飼養者に対する教育訓練、毎年の自己点検・評価等を担当し、事務局は議事録や活動の記録を適切に管理している。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>2023 年度は 117 件の動物実験計画が審査・承認されて実施している。毎年提出される「動物実験結果（中止・終了）報告書」及び「動物実験自己点検票」は 100%の提出率であり、その結果から動物実験が適正に行われていることが確認できる。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理上、問題となる事例は認められず、適正に実施されている。施設や設備が安全な状態にあるか定期的に調べられ、必要に応じて修理等が行われている。遺伝子組換え動物等について関連する委員会間で適切な情報共有がされている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>軽度な咬傷や針刺し等であっても、事故報告を義務付けて把握に努められたい。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>各飼養保管施設に応じた「飼養保管マニュアル」を定めており、適切な実験動物の飼養保管を示す各種資料やデータが動物管理台帳と点検日誌等に記録されている。サル類に対しては、飼養保管施設に入室しなくとも健康状態等が観察できるよう遠隔操作カメラシステムを設置していることは特筆すべきことである。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>いずれの施設も整理整頓され衛生的な環境が維持されている。SPF マウスの飼養保管施設は感染事故が発生しないよう、他ではあまり見られない高度に管理された体制が厳重に運営され過去に事故は起こっていない。施設全てから自己点検票が毎年提出されているが、重大な異常事態等の発生はない。5年ごとに動物実験委員会による現地視察が行われ、安全で衛生的な状態が管理・維持されていることを確認するとともに、必要に応じて助言指導が行われている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>前回の外部検証で指摘された施設・設備の経年劣化について、その後行われた改修や更新により問題点は認められない。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験実施者や飼養者全てに対して、3年ごとに教育訓練の受講が義務づけられており、教育内容には実験動物の飼養保管及び動物実験の実施に必要な項目が網羅されている。前回の外部検証で指摘された、サルの飼養者や動物実験実施者に特化した講習会を定期的を開催している。受講者ごとの受講記録も適切に保管されている。主要な飼養保管施設の実験動物管理者は、日本実験動物学会が実施する実験動物管理者等研修会を受講している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

2007年度から毎年動物実験にかかわる自己点検・評価を実施し、その内容を国立大学法人動物実験施設協議会が推奨する公開すべき項目とともにホームページで公開している。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

魚類 (メダカ、ゼブラフィッシュ)・両生類 (カエル) の使用実験についても動物実験計画書を提出させ、審査を行っている点は高く評価できる。

日実動学-外検発 第R7-21号-証

検証実施証明書

大学共同利用機関法人
自然科学研究機構
機構長 川合 真紀 殿

貴機関は、公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会による「動物実験に関する
外部検証事業」による自己点検・評価を行い
その結果に対する検証を本委員会が実施した
ことを証します

2025年3月14日

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 小倉 淳郎



No.2025-21

Japanese Association for Laboratory Animal Sciences



CERTIFICATE

President President Maki KAWAI
National Institutes of Natural Sciences

Dear President

In every Japanese institution under the jurisdiction of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, self-inspections and evaluations for the conduct of animal experiment and related activities must be verified by a third party, independent of the research institution concerned.

Japanese Association for Laboratory Animal Science (JALAS) certifies that National Institutes of Natural Sciences received "Assessment and Verification Program for Care and Use of Laboratory Animals in 2024".

Sincerely yours

14 March, 2025

Atsuo OGURA, Ph. D., D.V.M
President
JALAS

Masami MORIMATSU, Ph.D.,
D.V.M., DJCLAM
Chairman
Assessment and Verification
Committee, JALAS